

教科等研究会（中学校国語部会） 平成29年度 研究活動のまとめ

- 1 研究テーマ 生徒一人ひとりが輝く「わかる・できる」「楽しい」国語科授業づくり

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
期日	人数	場所	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
5/25	20	矢部中	8/18	甲佐中		10/26	蘇陽中	島田 志保 教諭	1/26	益城中	高島 淳 教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

平成29年度の研究テーマを「生徒一人ひとりが輝く『わかる・できる』『楽しい』国語科授業作り」と設定した。

①組織づくり

第1回目の研究会では、今までの取組みを基本として研究テーマの設定を行った。さらに部会を「説明的文章部会」と「文学的文章部会」の2部会に分け研究進めることとした。

②夏季研修

8月の研修では、宇城市立豊野中学校の平岡馨副校長に来ていただき「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」と題し講演をしていただいた。その中で、「資質・能力」について語っていただいた。そして、有意味学習、真正な学習、明示的な指導が大切であることを学ぶことができた。さらに、「主体的・対話的で深い学び」となるためには「質問できる能力」の育成、援助要請ができる「雰囲気と関係づくり」、学んだことを「自分の言葉で言い換える」大切さを教えていただいた。そのために教師が「視点を示す」「関連づけ」「価値付けを行う」ことが大切だということであった。その中でも「視点を示す」では、「対話型言語スキル」の活用、「対話的な学び」の充実、「メタ認知能力」の育成を図る振り返りの工夫をお話いただいた。ここでは、「視点」を教師や生徒が明確にすることの大切さを学ぶことができた。



③授業研究会

授業研究会では、2部会ごとに研究授業の検討をおこなった。放課後の時間を使い、部会ごとに事前研究会を開いた。「文学的文章部会」では「走れメロス」を、「説明的文章部会」では「玄関扉」を行うことになり、それぞれの取組みや指導案を持ち寄り、検討会が行われた。ここでは、子どもたちに「わかった・できた」と実感させるためにはどのようなことが手立てが必要かを考え、意見交換をおこなった。

(2) 成果と課題

①成果

- ・夏季研修で講話をしていただき、明示的な指導が大切であることを学び、それを授業に活かすことができた。
- ・A・B部会と少人数での研修を行うことで、お互いに実践例あげながら意見交換をすることができた。

- ・新しい視点での協同的学び合いが行われ、子どもたちが意欲的に活動することができた。
- ・ジグソー法を使い、一人ひとりに考えをもたせることができた。

②課題

- ・めあてと評価の整合性。(具体的な評価基準を持つておくことが大切)
- ・考える時間の確保をすることが大切だと思う。
- ・書き方のモデルを示すことで取組みやすくなるとよかったのではないかな。
- ・学習訓練や班活動を日常的に指導しておくことが大切だと思う。

4 実践事例

(1) 文学的文章部会 (三省堂2年「走れメロス」)

①授業者自評から

- ・机間指導の時に質問が出て、説明で分かりづらいことがあったようだ。
- ・もっとコンパクトにできればよかった。
- ・シラーとの比較で授業を進めていったが、1時間の流れのアドバイスをお願いしたい。

②質疑応答

○まよめの「表現効果」評価Aは、どんなことが書けるとA評価なのか

- ・具体例を挙げ(根拠にして)「〇〇があることで～が伝わってくる」などはB。
- ・「人が変わると伝えたかった」などの一歩先の考えはAとした。

③研究協議から

- ・生徒は「人質」をみてすぐ読み取る力がある。
- ・班活動が活発であった。
- ・授業者が生徒からうまく意見を引き出されていた。
- ・考えを深める時間をもっと確保できるとよかった。



(2) 説明的文章部会 (三省堂1年「玄関扉」)

①授業者自評から

- ・三角ロジックを使い、内開きと外開きのどちらがいいか考えたが、話し合いが深まらなかった。
- ・班活動では、子どもたちがよく話し合っていた。
- ・話し合って発表だったがその時間が短かった。

②質疑応答

○エキスパート活動では男女別なのはなぜか。

- ・その後のクロス活動で男女混合にするためにあえて、エキスパート活動では別にした。

○エキスパート活動の時に一人に与えられた指示の紙を教師が回収したのはなぜか。

- ・指示の紙をもっているとそれに頼る。そのため前時にメモをさせたので持たせなかった。

③研究協議から

- ・電子黒板の使用が視覚的でわかりやすかった。
- ・班での話し合い活動の雰囲気がよかった。(自分の経験と重ね合わせようとしていた)
- ・班で話し合う、個人で考える時には隊形をそれぞれに変えるとよかったのではないかな。



(3) まとめ

前田校長先生からは「子どもたちのつぶやきを拾い上げ、子ども言葉で振り返りをするとうよかったのではないかな」とご助言をいただいた。また、県学力調査を各学校で振り返って欲しいとお話があった。また「好き、わかる、身についた」という授業を目指すことが大切であることを話していただいた。

国語科授業プラン (2)年(1)組 授業者(島田)			
題材名 (『走れメロス』) 本時 (5/6)			
①このような生徒に		②このような力をつけるために	
○人物の行動とその理由、物語の展開を読み取るのが苦手 (N・R・T 結果) ○一部の生徒の発言で授業が進みがちで、自分の考えを持ちながら言わない		○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること (「1」読むこと) のう)	
		★本時の目標行動	
		作品を読み比べ、表現上の効果について根拠をもちに説明することが出来る	
		○【③方向づける】 考え方・視点を与えて、考えさせる ○【④メモ・リスニング化】 自分の考え→班→全体交流→個人と、個人の考えを伝える機会を多く設定	
指導のテラニツク ①ひきつける 視覚化 ②ひきつける 共利化 ③方向づける 集約化 ④そろえる 共利化 ⑤力かたさと実感させる ⑥結句の構成化 ⑦A・B・C・D化 ⑧創作化・作業化			
学習活動(分)	質問・指示・説明	具体的指導の工夫	備考(指導の力・教員・ICT・形態等)
導入 7分	1 前時の学習を振り返る 2 本時の目標を確認する	・メロスの心情の変化を、何に着目して読み取ってきたか、確認させる 「行動描写 (言語・姿勢)」「心情描写」「情景描写」(言葉) 既習事項をカード等にして提示	⑧小黒板に本時の流れを記入しておく ①フラッシュカード
展開 38分	3 シララーの原詩『人間』の結末部と、本文の最後の7行を読み比べ、気づいたことを出し合う 4 個人で考える (8)	・詩「人間」には書かれていない部分があるが「走れメロス」にはあることに気づかせる。 「(主) 敵をあらためた」「敵の城に上った」「一人の少女が城のデパートをささげた」「メロス、さあは～悔しいのだ」 ※考え方・視点 ・結末部分には、どんなことが描かれているのか、読み比べて、どんな効果があるか、自分の考えを説明しよう ・「走れメロス」というのはどんな感じがあるか、どんなことが描かれているか、わかるかということ。言いたいのは、それがあることでの「読さ」です。 ・「どんなことを考えたか、出し合いますか？」 「各組の考えを聞いて、どう思いますか？」 「読み比べることをおしえて表現の効果について考えてきましたが、本文は最後の7行を書き加えて終わることで、どんなこと(思い)を伝えられたか、考えますか、交流で出した考えや意見を参考に自分の考えを明確に書いてみましょう」	⑧シララーの原詩 (結末部のみ) と本文の最後の7行が書かれた資料 ③考え方・視点を与える
5 班で交流する (6)	「どんなことを考えたか、出し合いますか？」		
6 全体で交流する (12)	「各組の考えを聞いて、どう思いますか？」		
7 自分の考えをまとめる (5)	「読み比べることをおしえて表現の効果について考えてきましたが、本文は最後の7行を書き加えて終わることで、どんなこと(思い)を伝えられたか、考えますか、交流で出した考えや意見を参考に自分の考えを明確に書いてみましょう」		
8 本時の学習を振り返る	「根拠を挙げて説明することができましたか？ 今日の学習活動を振り返ってみましょう」	・根拠を挙げて自分の考えを言うことができたかどうか、どんな説明になるか、思ったか、思ったことはどんな効果の気づきを書かせ、今後につなげたい。	【⑤力かたさと実感させる】 ワークシート
終末 5分			

5 本時の学習

- (1) 目標 ジグソー学習を通して他者の意見に触れることで、資料から読み取った自分の考えをより深くまとめることができる。

(2) 展開

過程	学習活動【学習形態】	○主な発問及び指示 ●予想される生徒の反応	○指導上の留意点	備考
導入 10分	1 前時の復習し、本時の流れを確認する。 【一斉】 2 本時の課題を理解する。【一斉】	○前回のエキスパート学習で確認したことを振り返りましょう。 ○今日は課題について意見を交流し、自分の考えを三角ロジックでまとめましょう。	○エキスパート学習を行った班でそれぞれの主張を再確認させる。 ○本時の流れを黒板に予め示しておく。	学習シート
展開 35分	めあて：意見を交流し、課題に対する自分の考えを深めよう。 3 課題について意見を交流し、考えを深め、自分の意見をまとめる。 (1) ジグソー活動 【班】 (2) クロストーク活動 【一斉】 (3) 自分の考えをまとめる。【個人】	○4人班を作り、「トイレの扉は外開きが良いか、内開きが良いか」という課題について意見を交流しましょう。 ●確かにそういうことも考えられるなあ。 ○各班でどのような意見や質問が出ましたか。 ○これまでの活動をもとに、もう一度自分の考えをまとめてみましょう。 ●他の人の意見を聞いて少し考えが変わった。	○各班が前時に配布していた4種類の異なる資料を読んだ生徒で構成されるようにする。 ○意見の交流が活発になるよう、机間指導を行う。 ○交流する中で出てきた意見はメモをするように声かけする。 ○各班で出てきた意見や質問を全体で共有する。 ○「内開き」「外開き」の両方の意見を取り上げる。 ○三角ロジックを用いて考えをまとめるように促す。 ○意見が変わっても良いということを伝える。	学習シート
終末 5分	4 本時の振り返りをする。【個人】	○意見を交流し、自分の考えは深まりましたか。	○考えを交流することで自分の考えがより深まることを実感させる。	

評価基準 (学習シート)

- A：ジグソー学習を通して他者の意見に触れ、三角ロジックを用いながら、自分の考えをより深くまとめている。
B：ジグソー学習を通して他者の意見に触れ、自分の考えをより深くまとめている。
Bに達しない生徒への支援
三角ロジックや資料に書かれていたことについて確認をしながら個別に支援する。